

## —富山市—

## 長江東町地区浸水対策について

## 1. はじめに

近年、都市化の進展や局地的な集中豪雨による浸水被害が全国的に頻発している。富山市においても例外ではなく、平成28年度に「第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン」（事業計画期間10年）を策定し、合流式下水道区域における下水管の増径工事や雨水幹線の整備による浸水対策事業を継続的に進めている。今回は、現在整備を進めている長江東町地区の浸水対策について紹介する。

## 2. 浸水対策の概要

長江東町地区は、富山駅から南東約3kmに位置する閑静な住宅地であり、その中央に排水面積72haを受け持つ沼川雨水幹線が横断している。この雨水幹線は、市道長江東台不二越町線に埋設されている広田用水をサイフォンで横断し、宮路川に放流されている。平成5年以降の浸水履歴は、床下浸水が29件、床上浸水が1件であった。

既設水路の現況流下能力検討の結果、サイフォン部の流下能力不足が浸水の要因であることがわかったため、その対策について次に示す3案の比較検討を行った。



水路系統図



道路冠水状況

- A案：現位置での改修
- B案：バイパス水路整備
- C案：雨水貯留施設整備

当該地区は住宅密集地であり、A案・B案ともに家屋補償や用地買収を伴うため交渉に時間を要し、事業の長期化が懸念された。C案については、隣接する富山市管理の公園2箇所を整備候補地とすることで早期の着工及び事業効果が期待できることから、C案を採用した。

また、1箇所が必要容量を確保する単独貯留の場合は施設が大きく（用地内に収めるため深く）なることから浮力対策が必要なことや鋼矢板土留による周辺への影響が大きくなるため2箇所に分ける複合貯留を採用し、段階的に整備することで対策効果を早期に発現させ、住民の生活環境改善を目指した。

## 3. 工事概要

## ①長江東町第一貯留池（平成30年～令和元年度）

## 【施工中】

- ・計画貯留量：1,200m<sup>3</sup>
- ・構造形式：プレキャストRC製地下貯留槽（内空高2.5m、有効水深2.2m、土被り1.5m）
- ・排水施設：ポンプ排水（2台交互12時間排水）
- ・事業費：約440,000千円

## ②長江東町第二貯留池（令和2年～令和3年度）【予定】

- ・計画貯留量：1,400m<sup>3</sup> 現在、詳細設計中



施工状況（令和元年8月）

## 4. おわりに

現在、順調に工事が進捗しており、引き続き安全かつ円滑に工事を進めていきたいと考えている。

（富山市 上下水道局 下水道課 柿木原 幸司）